

# 安定ヨウ素剤の事前配布の必要性

原発事故のとき放出される放射性ヨウ素は体内の甲状腺に取り込まれ、これが甲状腺がんを発症させます。安定ヨウ素剤を適切なタイミングで服用すると放射性ヨウ素が取り込まれにくくなり、がん発生のリスクを低減させる効果があります。

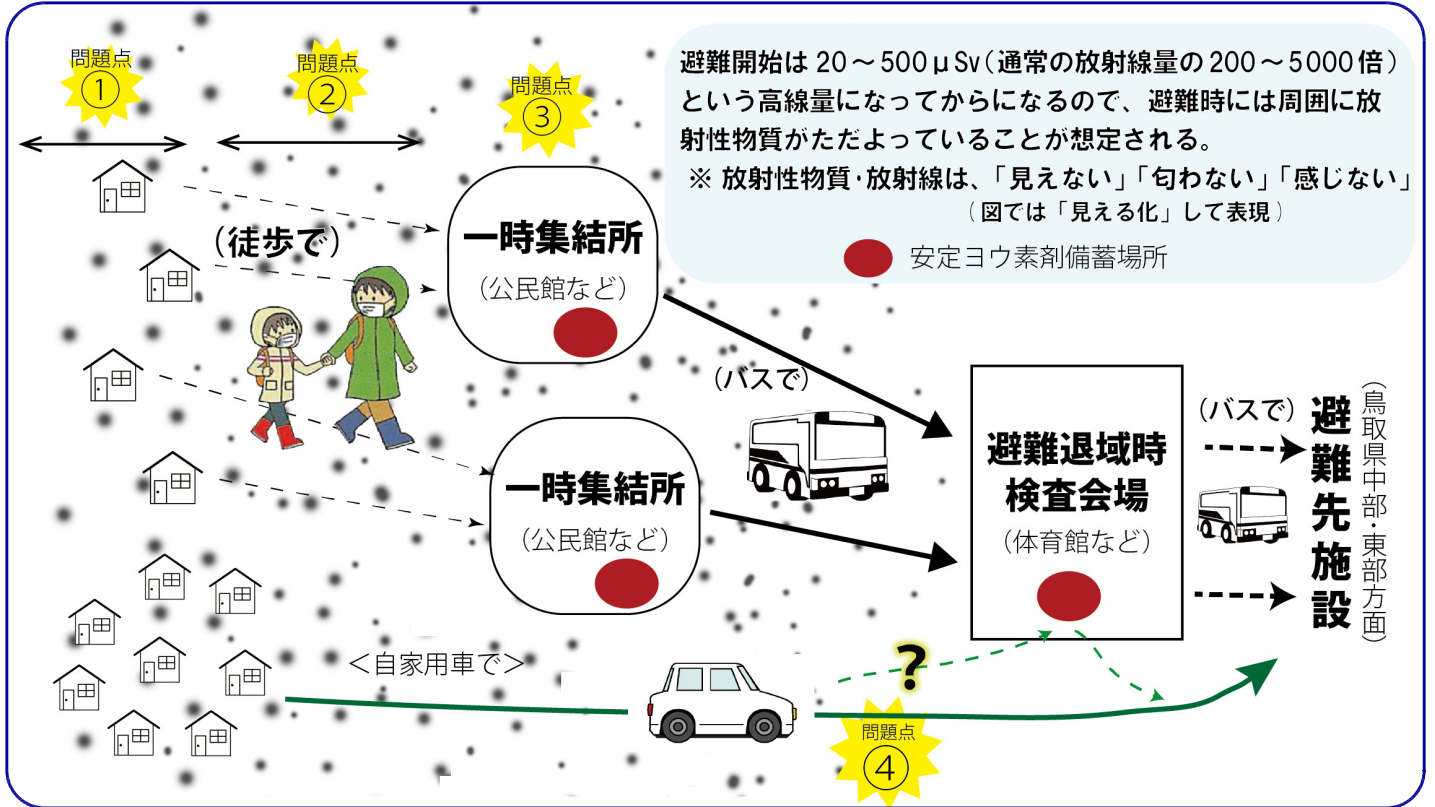


丸剤



ゼリー状剤  
(3歳未満向け)

## ■現状での問題点 (安定ヨウ素剤は、一時集結所等だけに備蓄されている)



### 問題点①

屋内退避をしても被ばくの危険性がある。

### 問題点②

一時集結所まで、屋外を徒歩で歩くことになる。被ばくの危険性が非常に大きい。

### 問題点③

一時集結所で、配布・服用にあたっての説明・問診を行うが、事故が進行している緊急時、何よりも

逃げることを優先しなければならない時に医師や薬剤師による十分な説明・問診は期待できない。

### 問題点④

自宅から自家用車で逃げる人は、安定ヨウ素剤を入手できない。

(計画上は避難退域時検査会場に立ち寄り配布を受けられているが、会場の混乱・避難の優先性を考えると、現実的ではない。)

## ■安定ヨウ素剤を事前配布すると

各家庭に安定ヨウ素剤を保管することができ、事故時、手元にあるので、適切なタイミングで服用することができる。また、事前(平常時)に配布するので、医師または薬剤師が十分な説明・問診することができる。

(注) 安定ヨウ素剤は放射性ヨウ素(ヨウ素131)にだけしか、被ばくの低減効果はありません。その他の放射性物質(放射性セシウム等)には、全く効果がありません。原発事故時には、とにかく「とっと逃げる」ことが最優先でなければならないことは、いうまでもありません。

※ このチラシに関する問合せ先 : 090-7138-0730(土光 ひとし) または dokohitoshi@my-s-pace.jp